

令和元年東日本台風災害にかかるアンケート分析  
報告書

令和2年 3月

千 曲 市



# 目次

---

## 1. 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査方法
3. 調査票の配布及び回収結果
4. 集計結果の取り扱いについて

## 2. 回答者の属性

1. 性別
2. 年齢
3. 世帯構成
4. 居住区域

## 3. 被災の状況

1. 住まいの被災状況（り災証明書の内容）
2. 住まい以外の被災状況
3. 定住意識

## 4. 令和元年台風第19号接近時の状況

1. 避難指示等について
2. 当日の避難行動について
3. 避難時点について
4. 避難しなかった理由について

## 5. 防災対策・防災意識

1. 家庭での防災対策
2. 自宅付近の避難場所
3. 千曲市ハザードマップの認知
4. 区・自治会の活動への参加
5. 近所付き合い
6. 防災訓練等への参加
7. 防災に関する知識・情報

## 6. 安全・安心なまちづくり

1. 安全・安心なまちづくりのために重視する施策

## 7. 日常の暮らし

1. 暮らしの再建の重点

## 8. 産業・経済の再建

1. 産業・経済の再建の重点

# 1.調査の概要

---

## 1 調査の目的

千曲市では令和元年台風第19号による災害からの復興のため「千曲市復興計画」の策定を進めている。計画の策定にあたり市民の皆様のご意見を十分に取り入れるため「千曲市復興計画策定のための市民アンケート」を実施した。

## 2 調査方法

- (1) 調査対象 ①り災証明書発送世帯（12月20日発送分まで）  
②上記を除く市内全域の世帯
- (2) 標本数 2,000人
- (3) 調査区域 千曲市全域
- (4) 抽出方法 ①り災証明書発送世帯（12月20日発送分まで）：872世帯  
②上記を除く市内全域の世帯から無作為抽出：1,128世帯
- (5) 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）  
Web方式（インターネットを使用して回答）
- (6) 調査期間 令和2年1月31日（金）～令和2年2月14日（金）

## 3 調査票の配布及び回収結果

- (1) 調査票配布数 2,000票
- (2) 有効回収数 1,028票（うちWeb回答数68票）
- (3) 有効回収率 51.4%（うちWeb回答率3.4%）

## 4 集計結果の取り扱いについて

- (1) 各項目の集計結果は百分率で表示し、個々の項目はそれぞれ小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の合計が必ずしも100%にならないことがある。
- (2) 「10代」の回答者数が極端に少ない為、集計結果が必ずしも調査目的に対して正しく反映されているとは限らない点もあるが、参考として表示するものとする。

## 2.回答者の属性

### (1)性別

性別では、「男性」が75.0%、「女性」が24.6%であった。

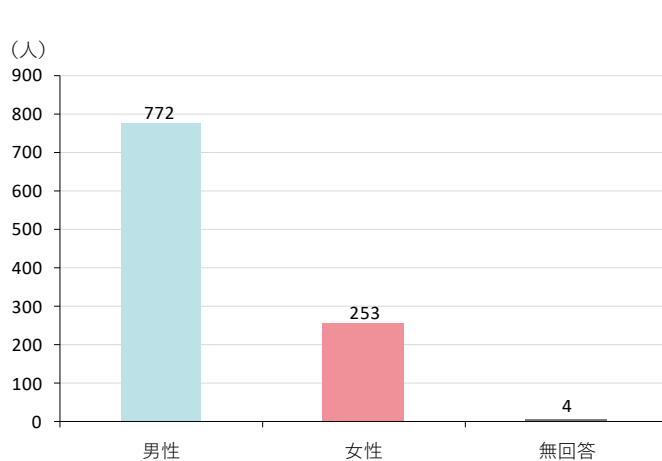


図 2-1-1 性別回答数

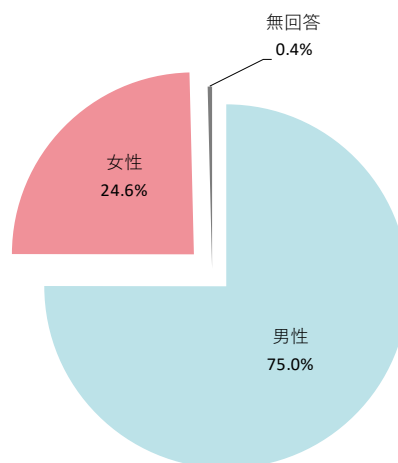


図 2-1-2 性別回答割合

※ダブルカウントを行っている

### (2)年齢

年齢別では、「70歳以上」が31.2%、「60代」が22.0%となっており、60歳以上の回答者が全体のおよそ半数を占めている。

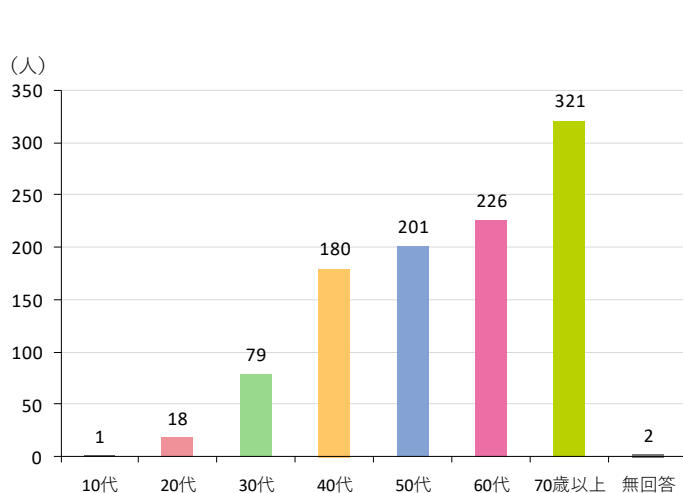


図 2-2-1 年齢回答数

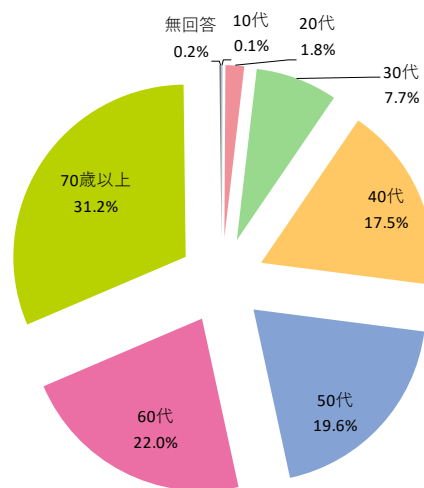


図 2-2-2 年齢回答割合

### (3)世帯構成

世帯構成別では、「夫婦と子ども」が35.7%、「3世代以上」が10.5%、「夫婦と親」が4.6%となっており、およそ半数が2世代以上によって世帯が構成されている。

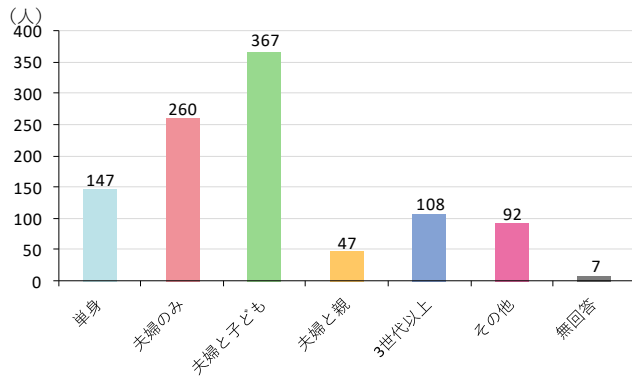


図 2-3-1 世帯構成回答数

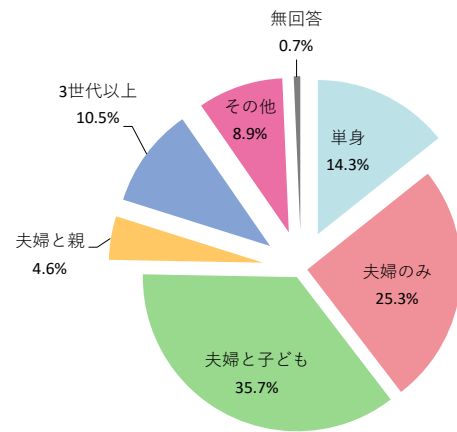


図 2-3-2 世帯構成回答割合

#### (4) 居住区域

居住区域別では、「埴生小学校区(37.2%)」が最も多く、「更級小学校区(2.8%)」が最も少ない。埴生小学校区、更級小学校区を除く7小学校区の回答率にばらつきがあるものの、大きな差はみられない。

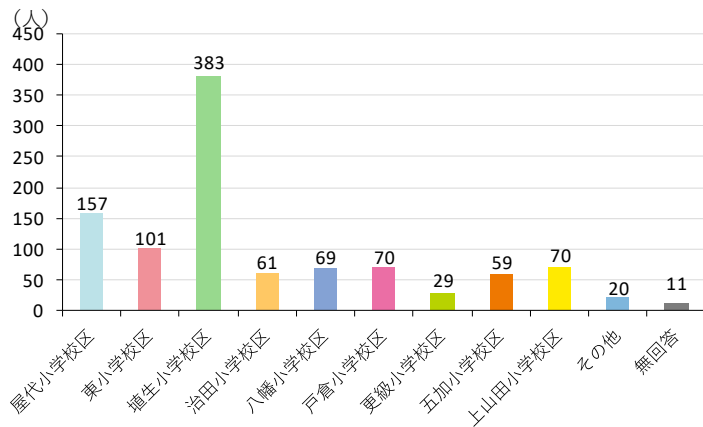


図 2-4-1 居住区域別回答数

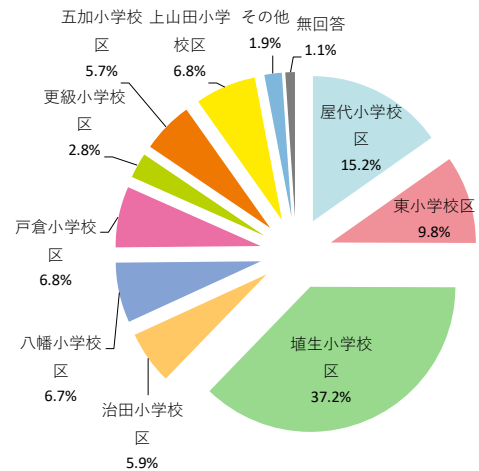


図 2-4-2 居住区域別回答割合

※ダブルカウントを行っている

#### 【参考】

##### ～通学区域～

屋代小学校	大字屋代、大字粟佐
東小学校	大字雨宮、大字土口、大字生萱、大字森、大字倉科
埴生小学校	大字寂蒔、大字鑄物師屋、大字打沢、大字小島、大字桜堂、 大字杭瀬下、杭瀬下一・二・三・四・五・六丁目、大字新田、大字中
治田小学校	大字稲荷山、大字野高場、大字桑原、大字八幡のうち中原区
八幡小学校	大字八幡(中原区を除く。)
戸倉小学校	大字磯部、大字戸倉、大字戸倉温泉、大字若宮のうち八王子地区、 大字上徳間のうち今井町区・柏王区、大字内川のうち柏王区
更級小学校	大字若宮(八王子地区を除く。)、大字羽尾、大字須坂
五加小学校	大字上徳間(今井町区・柏王区を除く。)、大字内川(柏王区を除く。)、 大字千本柳、大字小船山
上山田小学校	大字力石、大字新山、大字上山田、上山田温泉一・二・三・四丁目

### 3.被災の状況

#### (1)住まいの被災状況(り災証明書の内容)

住まいの被災状況について「被害なし (41.9%)」の回答が最も多くなった。一方で、「全壊 (0.2%)」「大規模半壊 (0.3%)」「半壊 (21.3%)」「一部損壊、床下浸水 (31.9%)」と回答を得た半数以上が住まいに被害があると回答する結果となった。

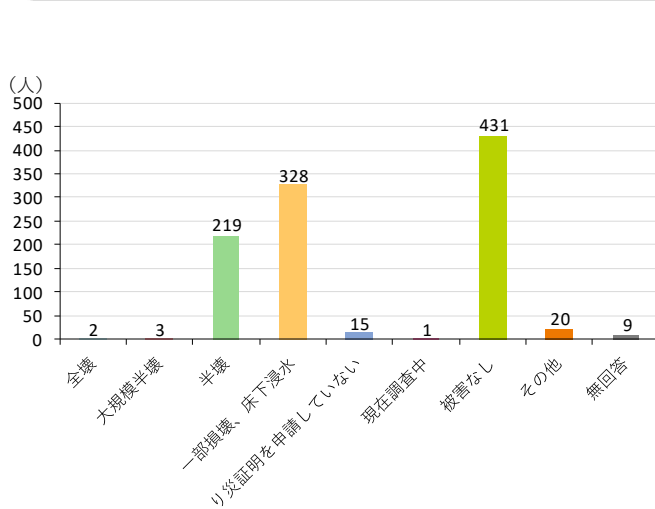


図 3-1-1 住居被災状況回答数

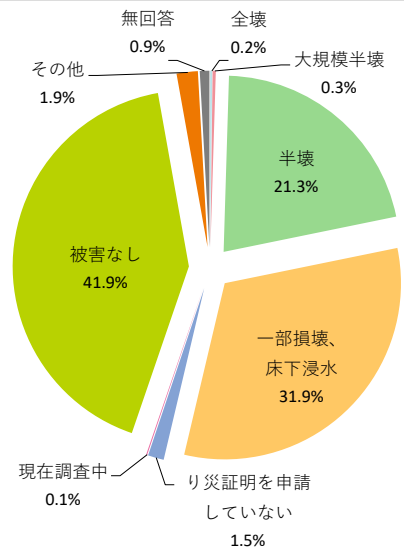


図 3-1-2 住居被災状況回答割合

#### (2)住まい以外の被災状況

住まい以外の被災状況について「被害なし (33.9%)」が最も多く、次いで「住居以外の建物(物置等) (22.6%)」「自動車 (17.9%)」「農地(田・畑) (9.5%)」となった。

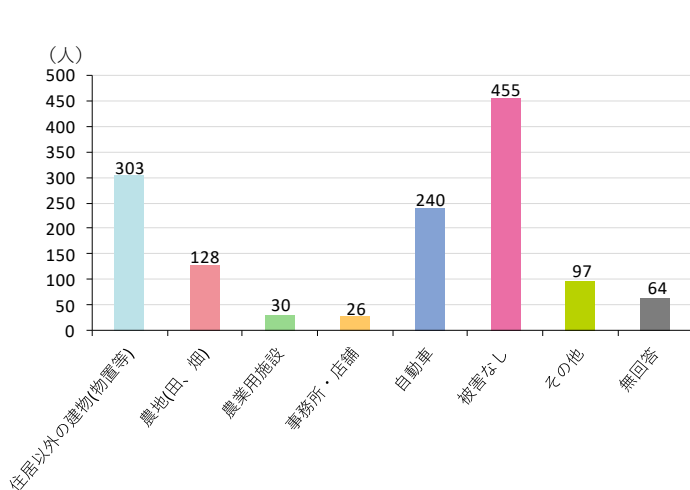


図 3-2-1 住居以外被災状況回答数

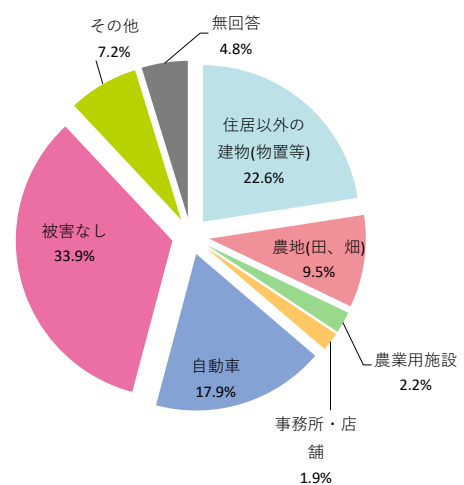


図 3-2-2 住居以外被災状況回答割合



### (3)定住意識

#### ・被災前

被災前の定住意識について、「今と同じ場所に住み続けたい (87.5%)」「市内の他地区に住みたい (2.6%)」「同じ地区内の別の場所に住みたい (1.8%)」と市内に住み続けたいと考えている回答が9割を超えている。

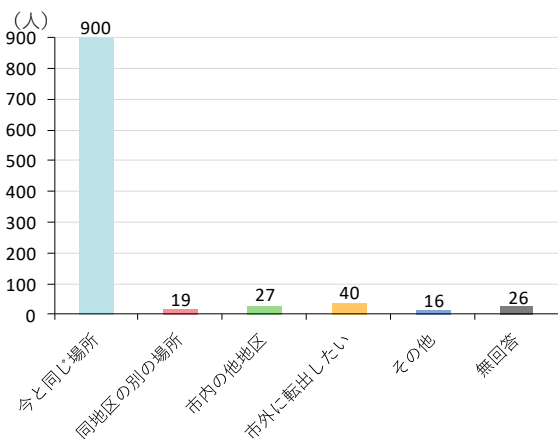


図 3-3-1 定住意識(被災前)回答数

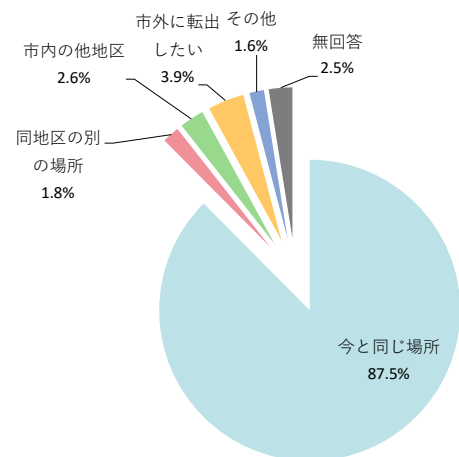


図 3-3-2 定住意識(被災前)回答割合

#### ・被災後

被災後の定住意識について、「今と同じ場所に住み続けたい (69.5%)」「市内の他地区に住みたい (6.1%)」「同じ地区内の別の場所に住みたい (3.2%)」と市内に住み続けたいと考えている回答がおよそ8割となった。しかし、「市外に転出したい」と考えている方が約1割いる。

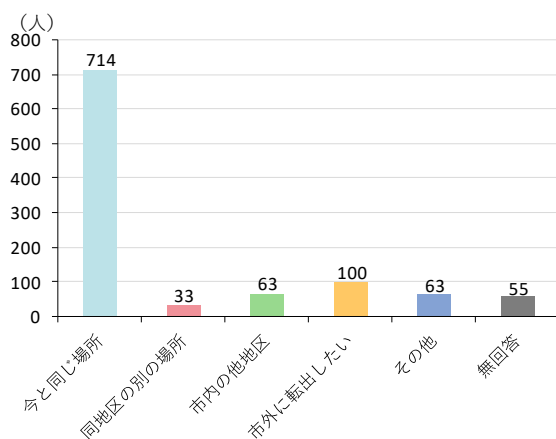


図 3-3-3 定住意識(被災後)回答数

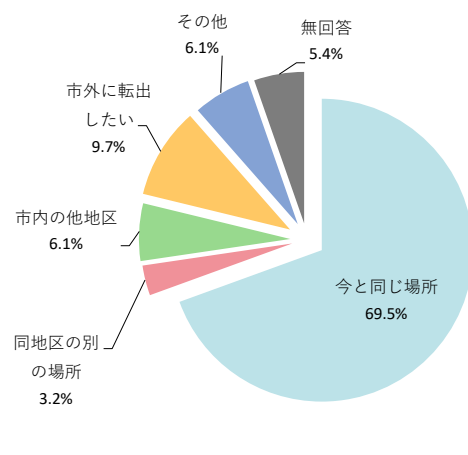


図 3-3-4 定住意識(被災後)回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

今と同じ場所	: 今と同じ場所に住み続けたい
同地区の別の場所	: 同じ地区内の別の場所に住みたい
市内の他地区	: 市内の他地区に住みたい
市外に転出したい	: 市外に転出したい
その他	: その他

## 4. 令和元年台風第 19 号接近時の状況

### 【令和元年 10 月 12 日（台風通過時）の避難指示等発令の流れ】

- 午後 3 時 40 分：市内全域へ「避難準備情報」発令
- 午後 3 時 52 分：一部地域へ「避難勧告」発令
- 午後 5 時 57 分：市内全域へ「避難指示」発令
- 午後 6 時 10 分：長野地方気象台より「大雨特別警報」発表
- 午後 6 時 45 分：千曲川河川事務所より「氾濫のおそれ」発表

### (1) 避難指示等について

- ・避難指示等を知ることができたか。

避難指示等について「知ることができた」という回答が 8 割以上であった。

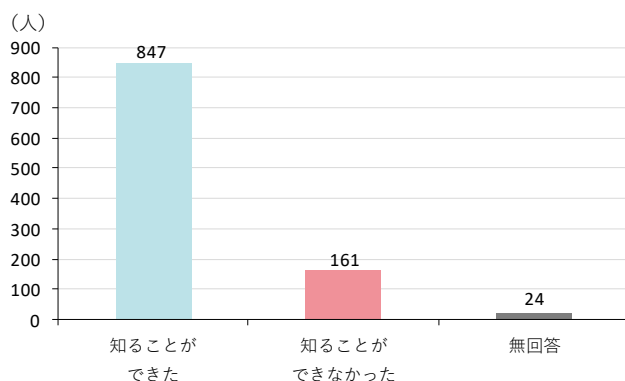


図 4-1-1 避難指示等回答数

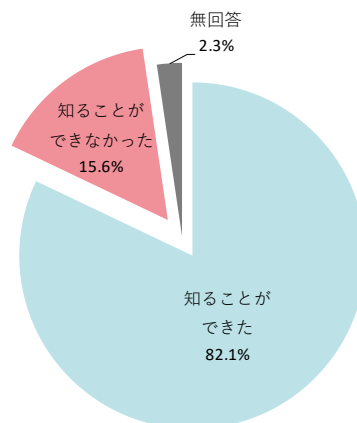


図 4-1-2 避難指示等回答割合

※ダブルカウントを行っている

・「知ることができた」と回答した方について、どのような方法で知ることができたか。

情報をどのように得たのかについて、「携帯会社からのエリアメール (26.7%)」が最も多く、次いで「テレビ (24.3%)」「市のメール配信サービス (12.9%)」「屋外告知放送 (12.5%)」「家族・知り合いからの連絡 (9.2%)」となった。その他ばらつきがあるものの、大きな差はない。4割強が情報通信技術 (HP・SNS・メール等) を活用している。

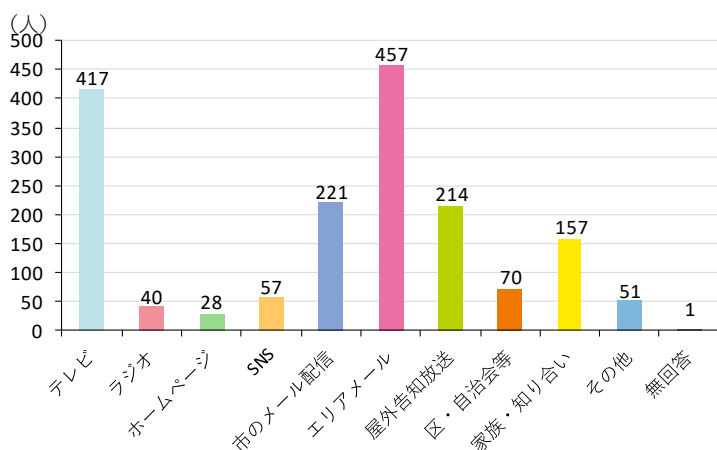


図 4-1-3 情報の取得方法回答数

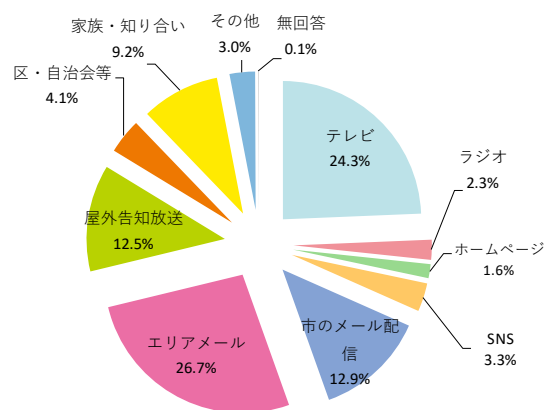


図 4-1-4 情報の取得方法回答割合

**設問・選択肢 対照表**

テレビ	: テレビ
ラジオ	: ラジオ
ホームページ	: ホームページ
SNS	: SNS
市のメール配信	: 市のメール配信サービス
エリアメール	: 携帯会社からのエリアメール
屋外告知放送	: 屋外告知放送
区・自治会等	: 区・自治会等の連絡網
家族・知り合い	: 家族・知り合いからの連絡
その他	: その他

## (2) 当日の避難行動について

・その避難指示等に従って避難をしたか。

避難の行動について「避難しなかった (40.7%)」という回答が最も多く、次いで「避難所へ避難した (24.4%)」「自宅の2階等へ避難した (19.1%)」「親戚宅・知人宅等へ避難した (13.3%)」という結果となった。

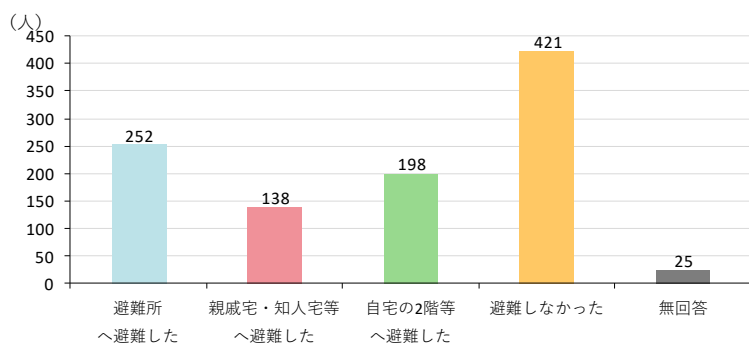


図 4-2-1 避難の有無回答数

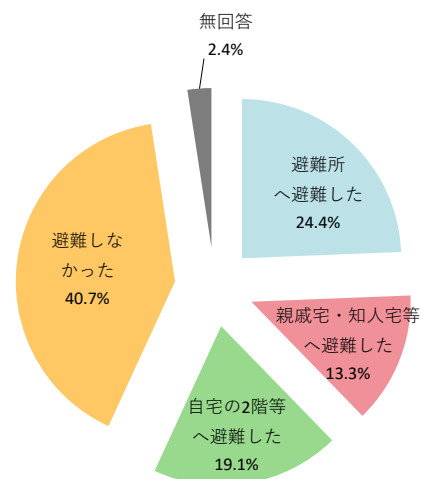


図 4-2-2 避難の有無回答割合

※ダブルカウントを行っている

## (3) 避難時点について

・「4. 令和元年台風第19号接近時の状況」の(2)で「避難所へ避難した」「親戚宅・知人宅等へ避難した」と回答した方について、いつの時点で避難を決めたか

避難を決めたタイミングについて、「避難指示 (31.3%)」が最も多く、次いで「氾濫のおそれ (19.7%)」「避難勧告 (17.4%)」「避難準備情報 (8.6%)」「大雨特別警報 (6.3%)」となった。

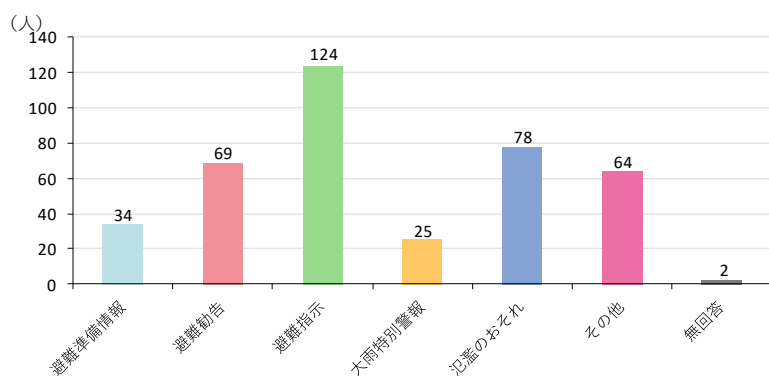


図 4-3-1 避難時点回答数

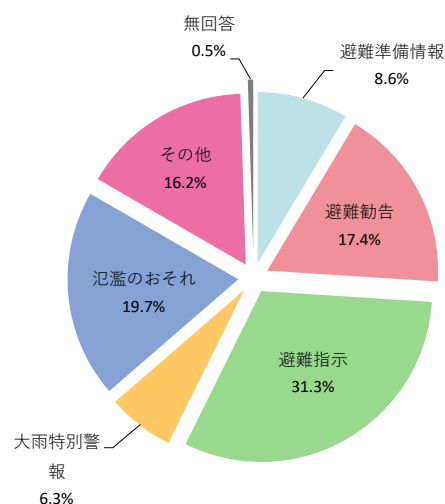


図 4-3-2 避難時点回答割合

※ダブルカウントを行っている

#### (4) 避難しなかった理由について

・「4. 令和元年台風第19号接近時の状況」の(2)で「自宅の2階等へ避難した」「避難しなかった」と回答した方について、避難所等へ避難しなかった理由

避難所等へ避難しなかった理由について、「自身で状況を確認して安全と判断（23.5%）」という回答が最も多く、次いで「浸水しても2階等に逃げれば良いと思った（17.9%）」「避難するとかえって危険だと思った（15.1%）」「近所の人が避難をしていなかった（11.4%）」「避難所等に向かう道路が既に浸水・冠水していた（9.1%）」「ペットと一緒に避難所等に行けるかどうかわからなかった（6.2%）」となった。

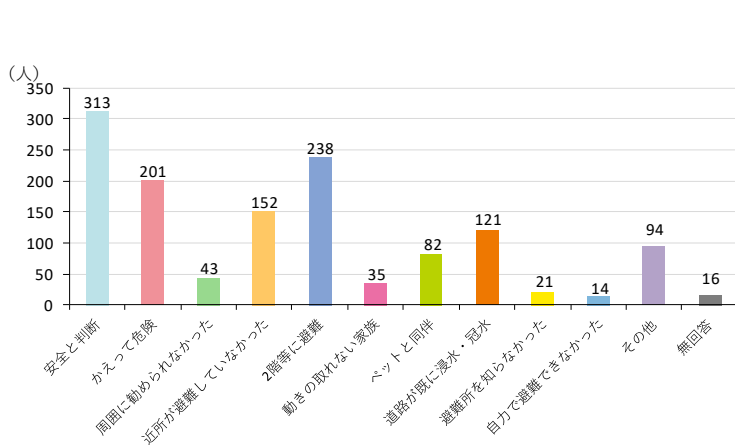


図 4-4-1 避難しなかった理由回答数

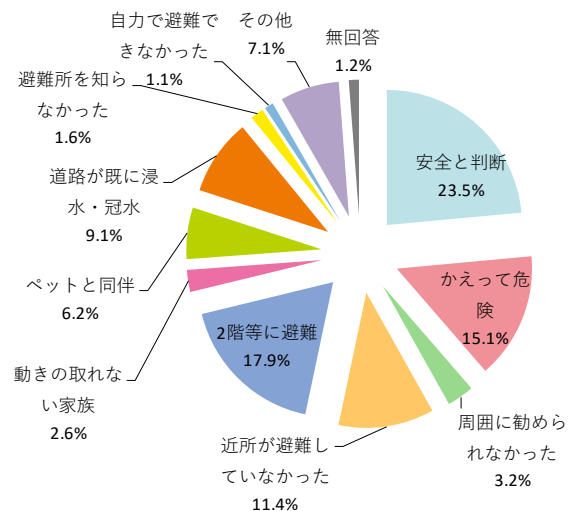


図 4-4-2 避難しなかった理由回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

安全と判断	: 自身で状況を確認して安全と判断
かえって危険	: 避難するとかえって危険だと思った
周囲に勧められなかった	: 周囲の人に避難を勧められなかった
近所が避難していなかった	: 近所の人が避難をしていなかった
2階等に避難	: 浸水しても2階等に逃げれば良いと思った
動きの取れない家族	: 動きの取れない家族がいた
ペットと同伴	: ペットと一緒に避難所等に行けるかどうかわからなかった
道路が既に浸水・冠水	: 避難所等に向かう道路が既に浸水・冠水していた
避難所を知らなかった	: 避難所を知らなかった
自力で避難できなかった	: 自力では避難できなかった
その他	: その他

## 5.防災対策・防災意識

### (1)家庭での防災対策

家庭での防災対策について、「食料・水などの備蓄 (26.9%)」が最も多く、次いで「非常用持出袋の準備 (18.4%)」であった。そのほか「何か対策をしている」という回答については大きな差はみられなかった。一方で「対策していない (16.5%)」という回答も全体に対する割合でみると3番目に多い回答となった。

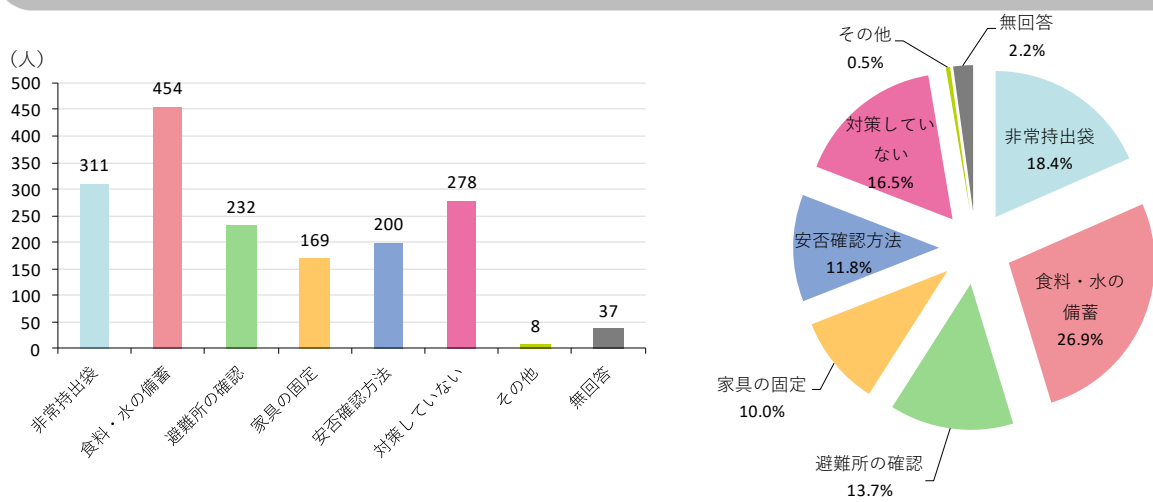


図 5-1-1 家庭での防災対策回答数

図 5-1-2 家庭での防災対策回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

非常持出袋	: 非常持出袋の準備
食料・水の備蓄	: 食料・水などの備蓄
避難所の確認	: 避難所・避難所への行き方の確認
家具の固定	: 家具の固定 (地震対策)
安否確認方法	: 家族間の安否確認方法
対策していない	: 対策はしていない
その他	: その他

### (2)自宅付近の避難場所

自宅付近の避難場所について、「知っていて行ったことがある (51.8%)」が半数を上回り、次いで「知っているが行ったことはない (36.5%)」「知らない (8.9%)」という結果となった。

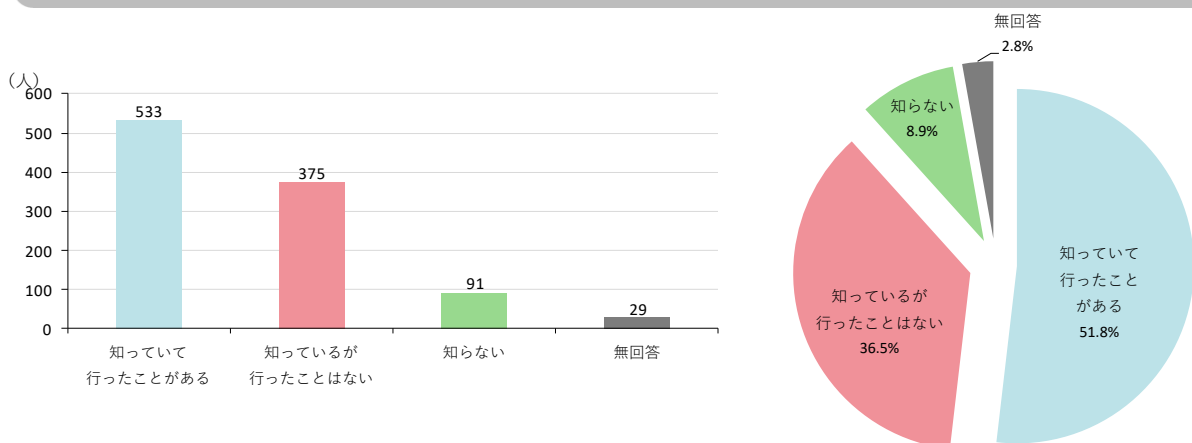


図 5-2-1 自宅付近の避難場所回答数

図 5-2-2 自宅付近の避難場所回答割合

### (3)千曲市ハザードマップの認知

千曲市ハザードマップについて、「知っていて見たことがある (53.7%)」という回答が半数を上回り、次いで「知っているが見たことはない (30.6%)」「知らない (13.3%)」という結果となった。

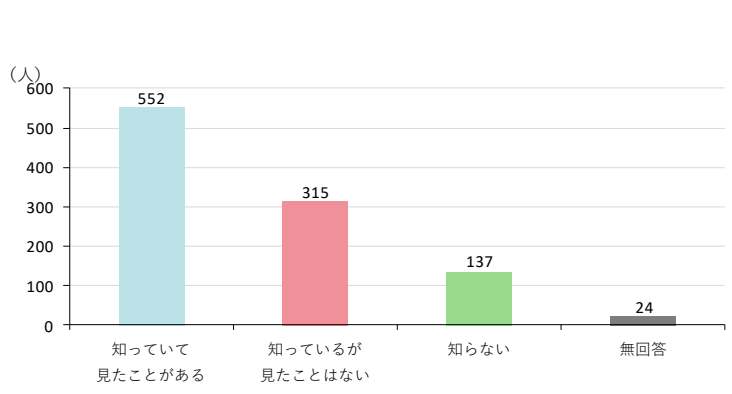


図 5-3-1 千曲市ハザードマップの認知回答数

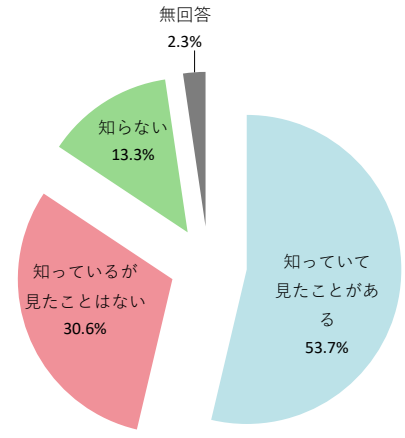


図 5-3-2 千曲市ハザードマップの認知回答割合

### (4)区・自治会の活動への参加

区・自治会の活動への参加について、「おおむね参加している (37.7%)」「時々参加している (22.1%)」「いつも参加している (22.0%)」となっており、8割以上が活動に参加している結果となった。

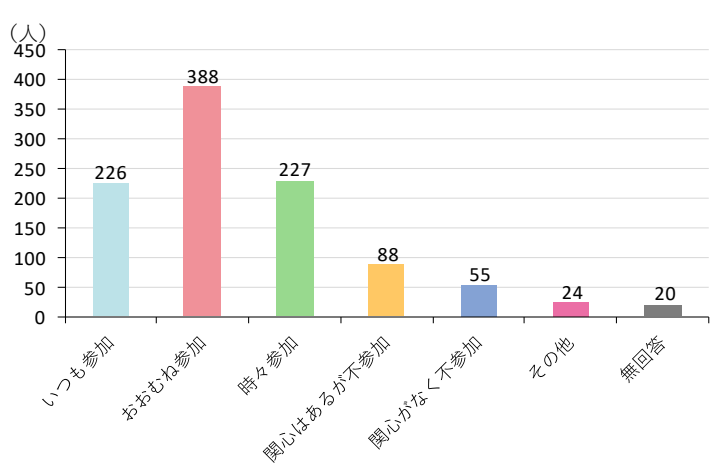


図 5-4-1 区・自治会の活動への参加回答数

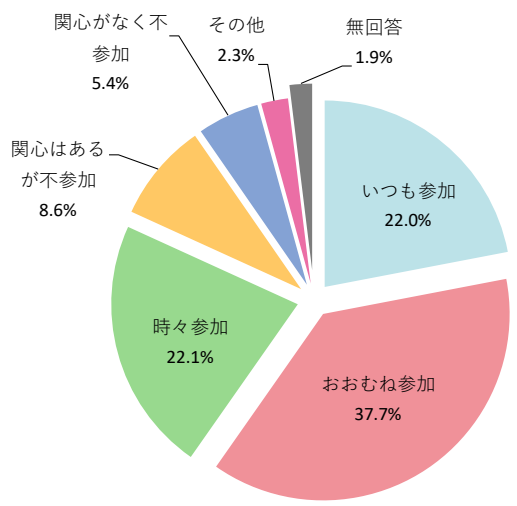


図 5-4-2 区・自治会の活動への参加回答割合

設問・選択肢 対照表	
いつも参加	: いつも参加している
おおむね参加	: おおむね参加している
時々参加	: 時々参加している
関心はあるが不参加	: 関心はあるが参加していない
関心がなく不参加	: 関心がなく参加していない
その他	: その他

### (5)近所付き合い

近所付き合いについて、「会えば挨拶をする (60.8%)」が最も多く、「よく話しをする (33.5%)」を合わせると9割を超える結果となった。

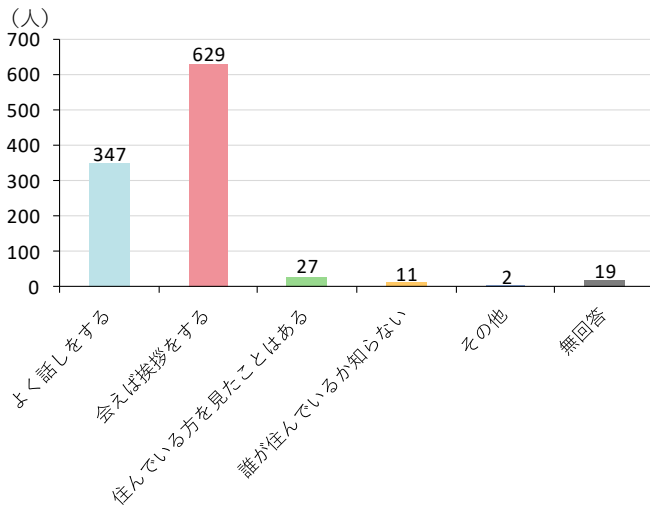


図 5-5-1 近所付き合い回答数

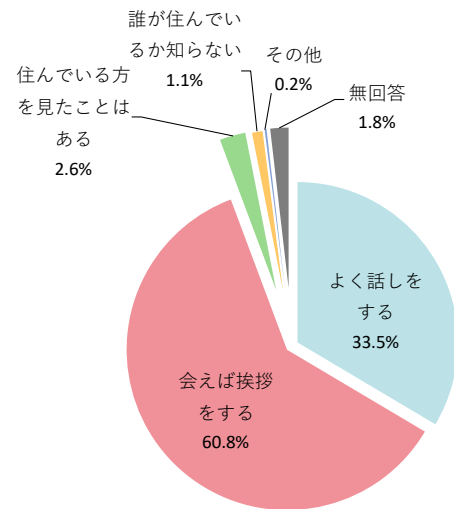


図 5-5-2 近所付き合い回答割合

※ダブルカウントを行っている

### (6)防災訓練等への参加

防災訓練等の参加について、「ある (77.2%)」と回答した割合が7割を超える結果となった。

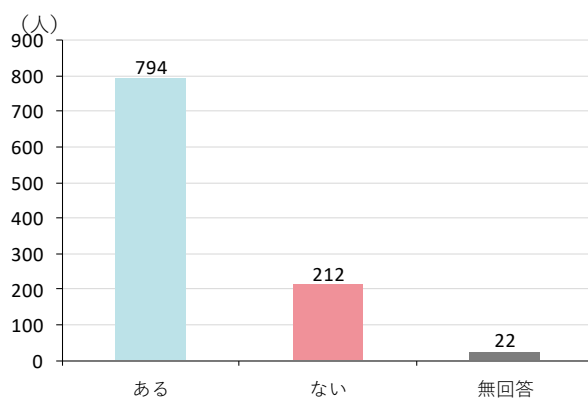


図 5-6-1 防災訓練等への参加回答数

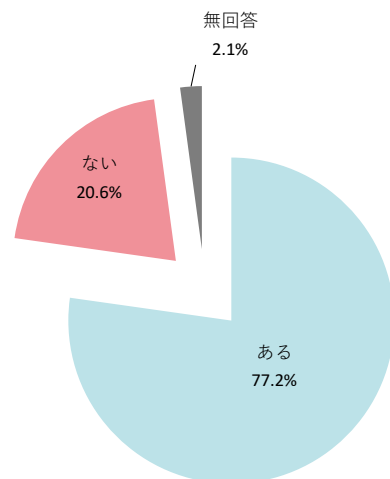


図 5-6-2 防災訓練等への参加回答割合



## (7)防災に関する知識・情報

防災に関する知識・情報について、「地域の危険箇所 (22.9%)」が最も多く、次いで「災害緊急時の対応の仕方 (19.0%)」「避難所 (18.1%)」となった。そのほか「災害発生の仕組み (2.8%)」を除き回答に大きな差はみられなかった。

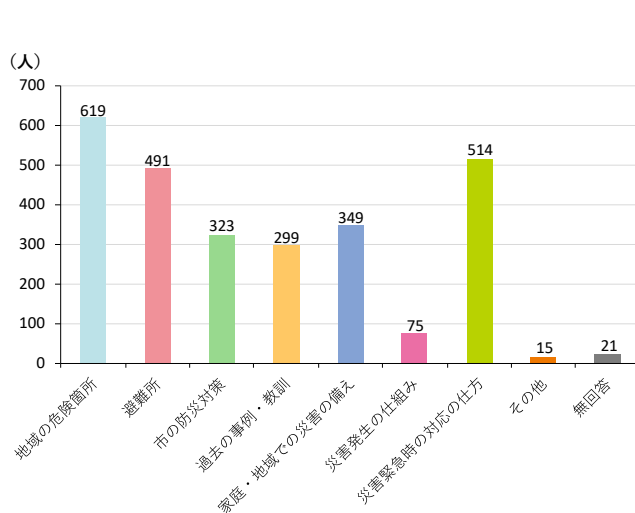


図 5-7-1 防災に関する知識・情報回答数

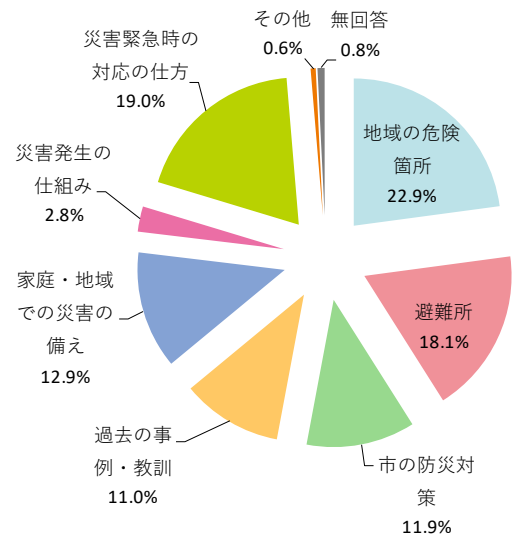


図 5-7-2 防災に関する知識・情報回答割合

### 設問・選択肢 対照表

地域の危険箇所	: 地域の危険箇所
避難所	: 避難所
市の防災対策	: 市の防災対策
過去の事例・教訓	: 過去の大災害の事例や教訓
家庭・地域での災害の備え	: 家庭や地域でできる災害への備え
災害発生の仕組み	: 災害発生の仕組み
災害緊急時の対応の仕方	: 災害緊急時の対応の仕方
その他	: その他

## 6.安全・安心なまちづくり

### (1)安全・安心なまちづくりのために重視する施策

#### ・ハード対策

重視するハード対策について、「河川の改修（26.9%）」が最も多く、「河底の浚渫（土砂等の取り除き）（19.5%）」「排水機場等の整備（13.2%）」「遊水地等の整備（10.5%）」と7割が河川や治水に関する対策を望んでおり、「避難所となる拠点整備（9.6%）」「居住地・農地等のかさ上げ（5.7%）」「治山事業などの土砂災害対策（4.8%）」「道路の整備（4.3%）」「適切な森林の整備・保全（3.6%）」となった。

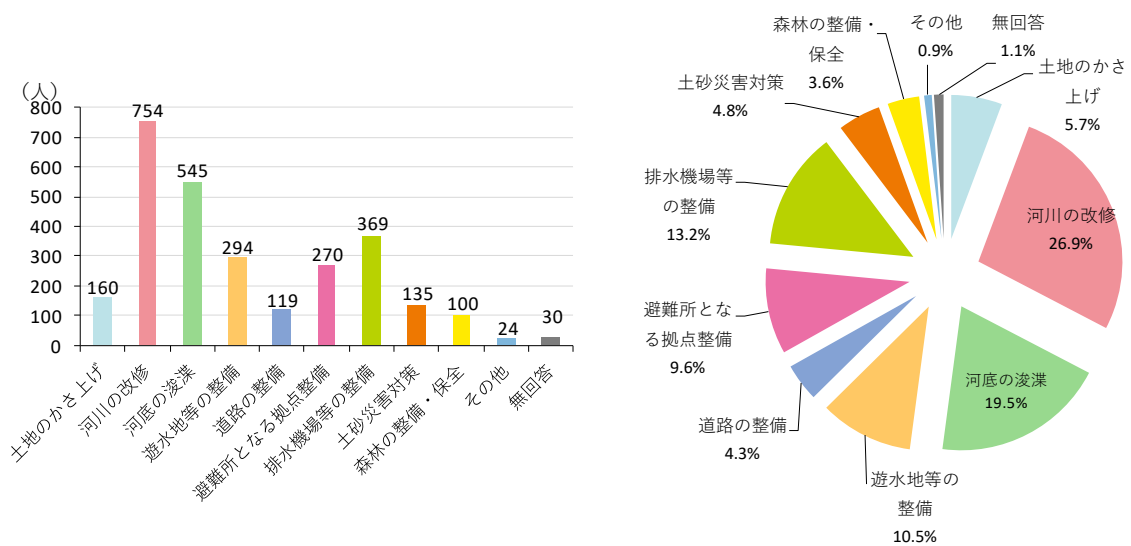


図 6-1-1 重視するハード対策回答数

図 6-1-2 重視するハード対策回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

土地のかさ上げ	: 居住地・農地等のかさ上げ
河川の改修	: 河川の改修
河底の浚渫	: 河床の浚渫（土砂等の取り除き）
遊水地等の整備	: 遊水地等の整備
道路の整備	: 道路の整備
避難所となる拠点整備	: 避難所となる拠点整備
排水機場等の整備	: 排水機場等の整備
土砂災害対策	: 治山事業などの土砂災害対策
森林の整備・保全	: 適切な森林の整備・保全
その他	: その他

## ・ソフト対策

重視するソフト対策について、「災害時の情報伝達手段の整備 (25.0%)」と最も多く、次いで「避難所への防災備蓄品の常備 (18.3%)」「地域での声掛け・助け合い (17.3%)」「市職員の防災対応能力の向上 (13.7%)」「自主防災組織等の地域防災体制 (11.1%)」「防災教育や防災訓練の実施 (7.1%)」「地域の防災リーダーの育成 (5.2%)」となっている。

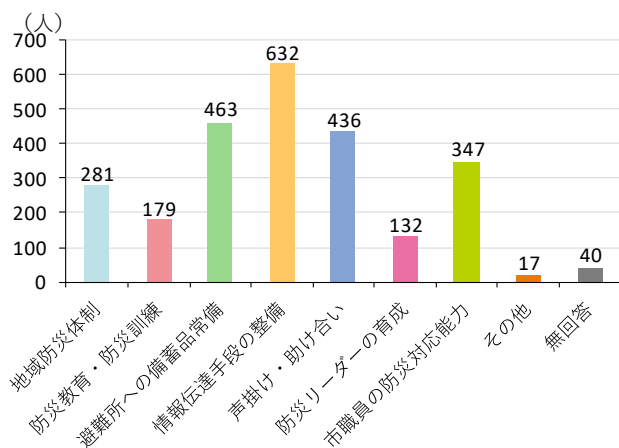


図 6-1-3 重視するソフト対策回答数

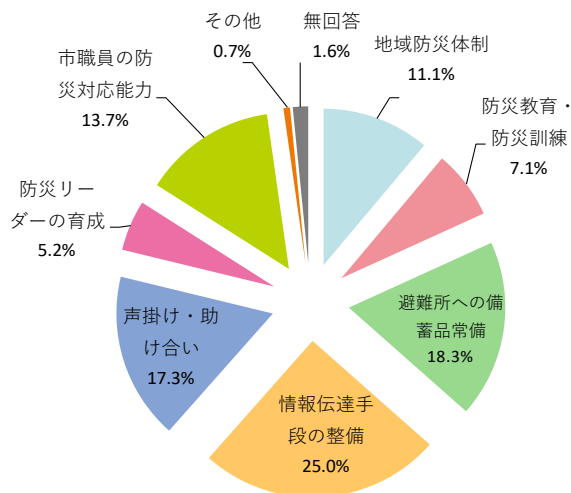


図 6-1-4 重視するソフト対策回答割合

### 設問・選択肢 対照表

地域防災体制	: 自主防災組織等の地域防災体制
防災教育・防災訓練	: 防災教育や防災訓練の実施
避難所への備蓄品常備	: 避難所への防災備蓄品の常備
情報伝達手段の整備	: 災害時の情報伝達手段の整備
声掛け・助け合い	: 地域での声掛け・助け合い
防災リーダーの育成	: 地域の防災リーダーの育成
市職員の防災対応能力	: 市職員の防災対応能力の向上
その他	: その他

## 7. 日常の暮らし

### (1) 暮らしの再建の重点

暮らしの再建の重点について、「経済的な支援（融資など）（24.0%）」が最も多く、次いで「保健・医療・福祉体制の確保（17.3%）」「住居の確保（住宅再建・公営住宅）（16.8%）」「市民への行政情報の伝達強化（12.4%）」「心身の健康の維持・増進（9.0%）」「地域のコミュニティ強化（8.9%）」「行政との協働（5.4%）」「児童・生徒の心のケアの充実（2.5%）」「社会教育・生涯学習の充実（1.2%）」となっている。

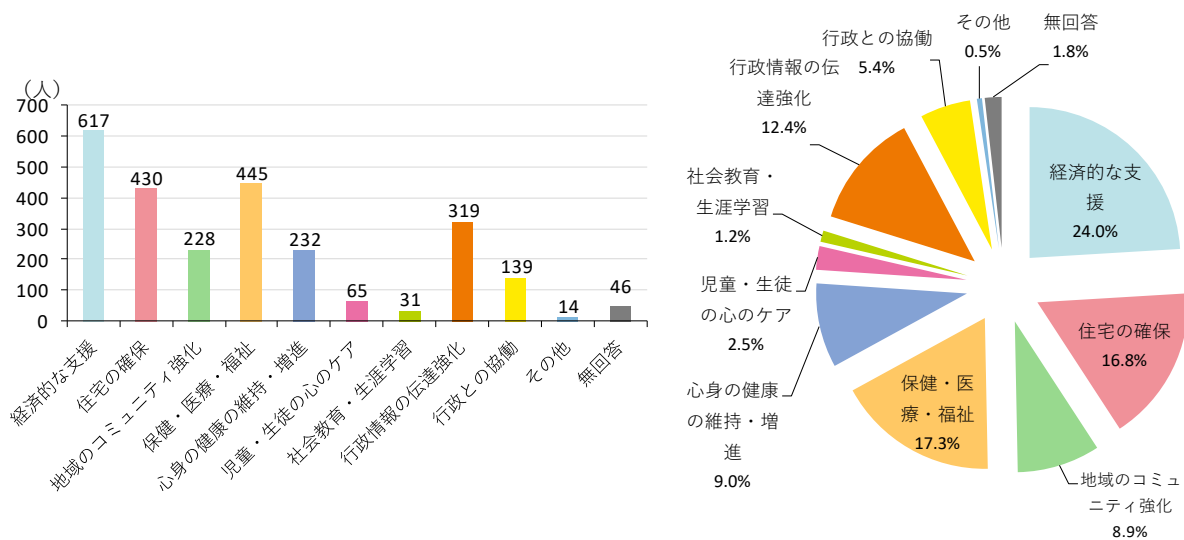


図 7-1-1 暮らしの再建の重点回答数

図 7-1-2 暮らしの再建の重点回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

経済的な支援	: 経済的な支援（融資など）
住宅の確保	: 住居の確保（住宅再建・公営住宅）
地域のコミュニティ強化	: 地域のコミュニティ強化
保健・医療・福祉	: 保健・医療・福祉体制の確保
心身の健康の維持・増進	: 心身の健康の維持・増進
児童・生徒の心のケア	: 児童・生徒の心のケアの充実
社会教育・生涯学習	: 社会教育・生涯学習の充実
行政情報の伝達強化	: 市民への行政情報の伝達強化
行政との協働	: 行政との協働
その他	: その他

## 8.産業・経済の再建

### (1)産業・経済の再建の重点

産業・経済の再建の重視する施策について、「設備等の復旧支援（29.4%）」が最も多く、次いで「経済的な支援（融資など）（27.6%）」「雇用の確保への支援（13.3%）」「事業継続計画策定の支援（8.5%）」「風評被害対策（7.1%）」「人材育成への支援（5.3%）」「新分野進出、事業転換等への支援（3.1%）」「商談会・イベント等の実施（1.9%）」となっている。

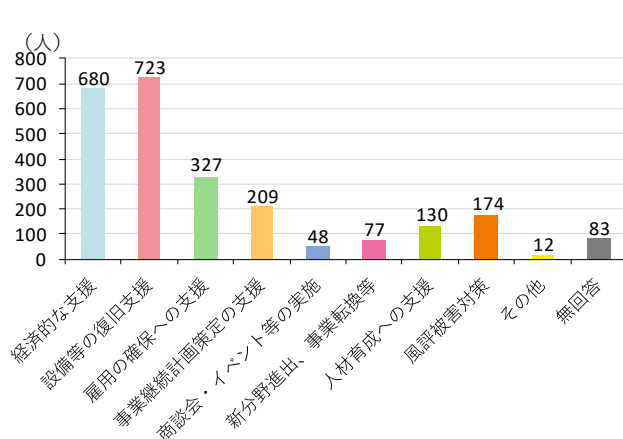


図 8-1-1 産業・経済の再建の重点回答数

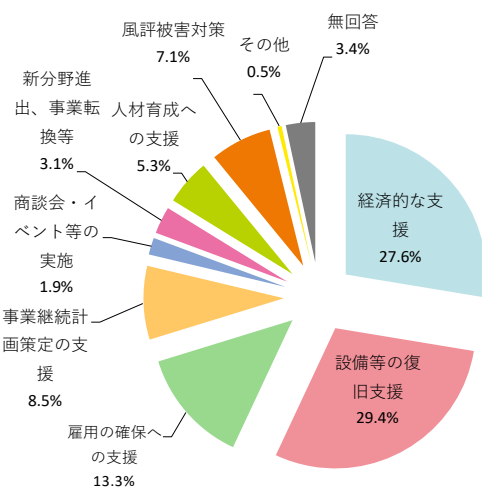


図 8-1-2 産業・経済の再建の重点回答割合

#### 設問・選択肢 対照表

経済的な支援	: 経済的な支援（融資など）
設備等の復旧支援	: 設備等の復旧支援
雇用の確保への支援	: 雇用の確保への支援
事業継続計画策定の支援	: 事業継続計画策定の支援
商談会・イベント等の実施	: 商談会・イベント等の実施
新分野進出、事業転換等	: 新分野進出、事業転換等への支援
人材育成への支援	: 人材育成への支援
風評被害対策	: 風評被害対策
その他	: その他

## 避難情報を知ることができなかった理由

1	情報を軽く見てしまった。気付いた時は玄関まで水が一杯入って、回りじゅう海のように水がゴーゴー流れておそろしかった。
2	風が強くて家の中では屋外告知放送が聞こえない
3	情報が色々あってどこの媒体の何の情報だったか良く覚えていません
4	屋外告知放送をしていたのかも知れませんが、普段は良く聞こえるのに雨のせい聞き取れませんでした。
5	スマホのニュースを確認していただけで市のホームページまで考えがいかなかった。19時頃ヒナン指示を知りそれからの行動
6	テレビで知る事が出来ました
7	仕事で家に居ない他市の水害の対策中
8	分からない（在宅ではあった）
9	どこからも連絡ない
10	発令内容が把握できない、状況内容を細かく指示等されるべき
11	放送が聞き取れなかった。
12	聞き取れない
13	市のメール見ていなかった
14	報道を見ていなかった
15	特になし
16	出かけて7時頃帰宅食事済んで居りカーテン閉めてテレビを見ていた
17	屋外告知放送はほとんど家の中では聞こえなかった。連絡網でも全くなかった。水の量が早かった。
18	地区内の情報が全くない地区の屋外の放送がない
19	放送など風や雨の為聞き取れない
20	どのような方法で発表になったのか良く分からない
21	おそい、こない
22	仕事で不在
23	屋外告知放送があったかよく聞こえなかった。認知症のため自分で判断できなかった。
24	防災放送が聞き取れなかった
25	当時テレビ・ラジオなども設置しておらず地区の放送などもききとりずらくあまり意識することが出来なかった。
26	連絡がなかった
27	水が大幅に増えて遅れた
28	仕事で自宅に居なかったため
29	市内全域避難指示ではアバウトすぎてしることができなかったと同等
30	寝ていました
31	仕事で市内には不在
32	近隣の騒ぎで知る
33	情報が聞こえなかった
34	携帯に入ったのとテレビ見た部分
35	携帯会社からメールがあったが長野県には台風は来ないと思っていた。から無視していた
36	屋外放送が聞く事ができなかった。
37	被害の及ぶことが考えなかった。他人事のように知ろうと思わなかった。
38	市からの状況市役所に近いのですが聞こえずらい、普段から
39	別地域に居た
40	外出してしまっていた。

41	家族の情報が早く信頼性があるから
42	気がついた時には水が家の中に入ってきたため戸をしめて2階に避難しました。
43	情報流れ不明
44	浸水の危険の為電源（ブレーカ）を切っていた
45	庁舎の駐車場とか体育館へ避難状況を自分で見に行った。近所の方が避難するとのことで
46	市からの警報が聞かれなかった81歳女性おとなりのかたから避難を知らされ一緒に埴生中へ
47	工作中だった
48	家の中でテレビ放送にくぎ付けになっていました。
49	千曲市には避難指示は出ていたが千曲市のどこなのか良くわからなかった。
50	放送も聞こえず（してない？）TVも見えていないラジオは聞いていない
51	注意すべき場合は消防車が回って下さると思ってました。（数年前千曲川増水の折数回カンカンと回りました）屋外放送全然聞こえません。スマホ等々なく、ラジオテレビも放送してましたか？長野の妹から電話で知り後レスキューの方々にボートで助けていただきました。
52	耳が遠い
53	テレビ、ラジオはあまり見たり聞いたりしない為又屋外放送や自治会からも連絡が無かったのでひなんがおくれた（PM11:00頃）レスキューが来てくれた
54	川から遠いので避難指示地区とは思わなかった。
55	あつという間だったので。
56	千曲市にいなかったため
57	避難放送が良く聞き取れなかった
58	市外へ出かけていた
59	仕事で家に居なかった。
60	あの位な雨降らだったので千曲川が増水するとは又、雨が降っていたので水のチェックが出来ませんでした。
61	防災無線が普段から聞こえない
62	スマホも聞いていたが千曲市の状態わからずケーブルテレビもなし
63	仕事をしてたから。帰宅は6時30分すぎでした。
64	千曲市に居なかったため
65	千曲市についての情報があまりなかった
66	不明です
67	市外に避難していた
68	避難指示等が発令されたことが分からなかった
69	PM12時過ぎ頃この辺は避難（車の）が放送され娘の所へ避難したため避難した所が夜停電になり、テレビも見られず千曲市の情報が何も無く友人との電話で知る。インターネットでの情報のみ
70	風雨、家の構造で屋外告知放送が聞こえない
71	指示が出る前にリハーサルが欲しい
72	TVを見ていたので他県や他の地域のことしかわからなかった。スピーカーとかでの情報があつたのか？もわからなかった。
73	雨の音 風の音と思
74	仕事をしてたから
75	聞き取れなかった。これほどひどい状態になるとは思ってもみなかった。
76	排水機場が設置され水害はないものと信じ避難情報に関心をもっていなかった。又情報発信がどこから（どこで）なされていたかも不明であった。

77	注意不足
78	勤務明けで寝ていた
79	市外の職場に居たため
80	方法・手段がない
81	避難指示が確認できなかった。(しなかった)
82	工作中
83	家に居なかった。
84	屋外スピーカーでも放送したとおもいますが何も聞こえません。いつも何か言ってるらしいけど方角が悪いので聞き取れません。
85	早期市外避難したため
86	車に乗っていた(仕事)
87	1.テレビでは具体的なこと知らされなかった 2.屋外放送は声が割れ、戸を開けていると判らなかった
88	8-2の設問に関して7.8.等には全く聞いていない状況である特に7については若干音声があるかな程度と言える
89	市の台風状況で様子はわかっていますが尾米川のはんらんが早く、停電(朝まで)になり、戸もあけれないで朝まで家におりました。午前2時ごろ玄関の水が引いていきました。
90	工作中
91	テレビを見ていた
92	特に連絡網もなく風雨の音で外の放送も聞き取れなかった。
93	夜の屋外放送が聞こえなかった
94	千曲市に居なかったから(仕事で出張中)
95	放送がいつも聞き取れません。声がわれて放送があったかも知りません。
96	雨・風が強く聞こえない
97	自宅に不在だったため留守にしていた。(他県にいたため)
98	仕事の為自宅に居なかった
99	災害対応で夫婦とともに職場に召集されていたため
100	ケーブルテレビでの情報だけだったので、どこまで切羽詰まっているのかわからなかった。
101	他人事のようにとらえていて細かい避難指示をはあくしていなかった。
102	わが家が水害の対象になるとは当初から思っていなかった。浸水に気付いたのが8時過ぎで2階に避難するしかなかった。
103	市より情報なし
104	防災無線が聞こえない、内容がわからない
105	雨及水位がどんどん上昇して来て、家財等をテーブル、ベット(家屋に水が入って来たので)等の上に片付け作業に追われ全然わからなかった
106	地域メールが鳴り続けていた。屋外告知放送は聞こえなかった
107	大雨と夕食でマイクの音が聞き取れなかった
108	自宅におらず帰宅した時にはすでに発令されていた
109	防災放送が聞き取れない程度で数度放送された
110	家の中では外の様子が解らず屋外放送も聞こえず知らなかった。
111	身内のいる市外へ朝向かった為。千曲市の情報は河川のライブ映像をスマートフォンで見ると以外入手できなかった。
112	わからなかった。ケーブルテレビを見ていたのでそれで様子を教えてほしかった。
113	雨音で聞こえなかった。 TVは、ほかの地域中心でよくわからなかった。
114	雨と風の音で放送が聞こえなかった。

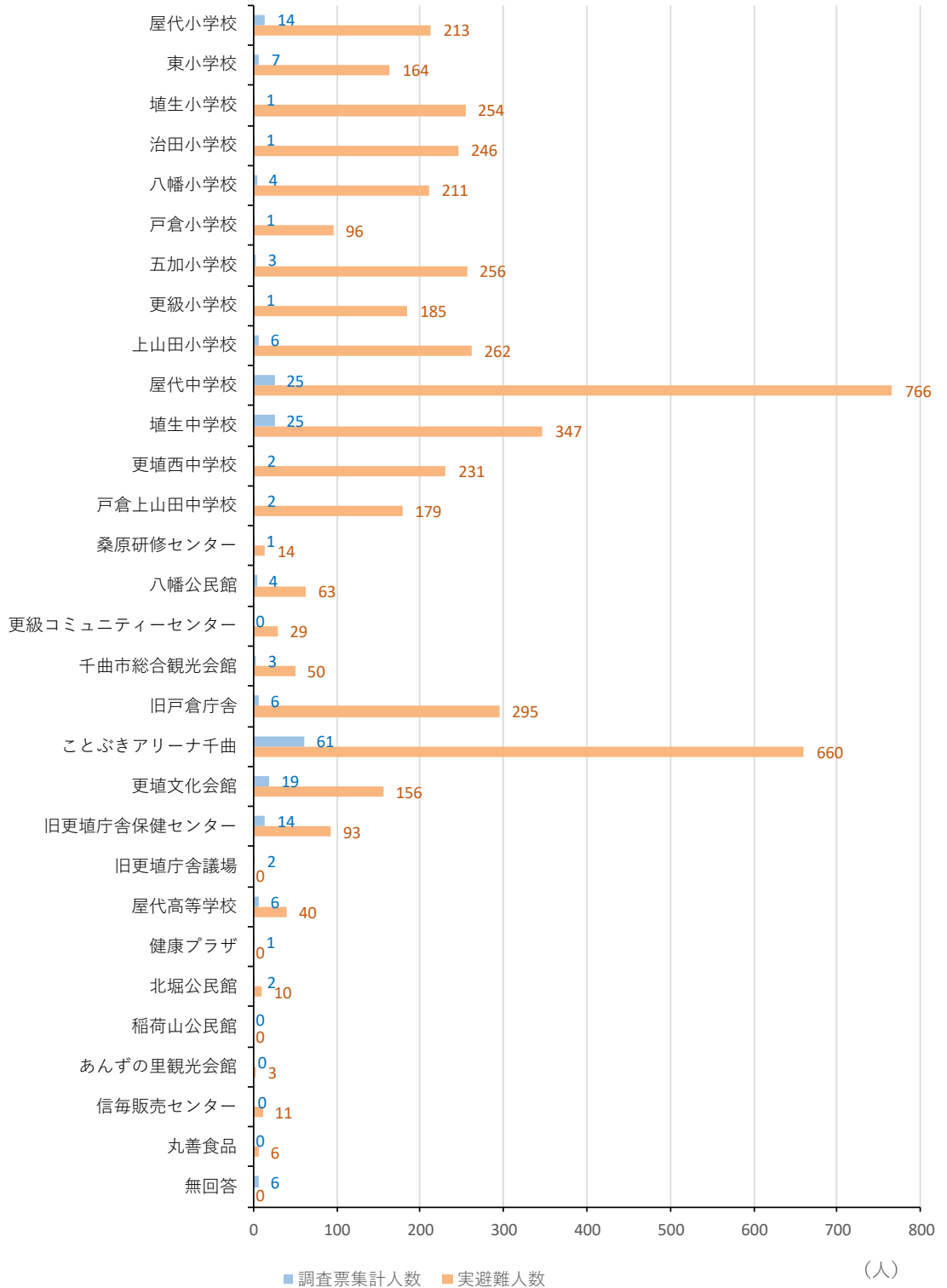


115	防災のスピーカーも無い。 市からの連絡も無い。
116	杭瀬下中区等具体的な場所の連絡が無かった
117	氾濫のおそれを言われたから土手の方をずっと凝視し、携帯を握りしめていました。夜中の12時になっても土手は無事だったので入浴して寝ようと思いました。ところが12時半ごろ突然停電でただごとでないと思い、暗がりでもパジャマを着、懐中電灯を持ってみたら、土手とは逆の東南の道の方から水が流れてきました。どういう出水か分からず、携帯をもちながら避難の用意をしました25分後、外に出ると40cmの急流になっていて、2階に避難しました。その後も携帯、TVに気を付けても(3時過ぎに停電が復旧)どこからの出水なのか何の情報もありませんでした。入るのは長野市の状況ばかりでした。
118	防災無線の放送は全く聞こえませんでした。
119	会社に居た為、何も情報が入らなかった。
120	・連絡がきていない。自分で行動し、避難した。
121	午前中に避難勧告して欲しかった
122	・ピンポイントの地区に避難が出ていなかった・テレビ含め情報を取得していなかった
123	屋外告知放送がよく聞こえなかった為
124	安曇野市にいたため

## 避難先一覧（避難所指定・自主避難所）

避難先について、「ことぶきアリーナ千曲」が最も多く、次いで「屋代中学校」「埴生中学校」「更埴文化会館」「屋代小学校」「旧更埴庁舎保健センター」となった。

令和元年11月11日（月） 避難所閉鎖



※旧更埴庁舎議場は更埴文化会館からの移動

避難先一覧（避難所指定・自主避難所でないもの）

単位：(人)

代公民館	7
市役所	4
区の公民館(屋代2区、2区等)	4
旧市役所	3
市役所 立体駐車場	3
観光会館	2
千曲中央病院パーキング	1
子供の家、一人は自宅を守る	1
市体育館	1
ファミリーマートパーキング	1
あんずホール・後に再び体育館の外にて…止める	1
村上小学校（坂城町）	1
埴生公民館から埴生中学校へ	1
稲荷山養護学校	1
旧戸倉倉舎へ行ったがペット NG とわれ帰った!!	1
つるやの駐車場	1
雨宮研修センター	1
ペットがいる為車の中で過した。	1
屋中いっぱいだった、西友の屋上へ避難した。	1
市役所へ避難するため車で行くが満車の為ベシアの2階へ避難した。	1
更級小学校駐車場 1人のみ	1

※参考 避難場所別避難人数一覧（千曲市 HP より）

No.	避難場所	10/12(土) 21:00	10/12(土) 23:00	10/13(日) 3:00	10/13(日) 5:00	10/13(日) 6:00	10/13(日) 7:00	10/13(日) 9:00	10/13(日) 11:00	10/13(日) 14:00	10/13(日) 16:00	10/14(月) 17:00	10/15(火) 14:00	10/16(水) 17:00	10/17(木) 17:00	10/18(金) 14:00	10/19(土)17:00 ~10/31(木)17:00	11/1(金)17:00 ~11/10(日)17:00
1	屋代小学校	172人	213人	185人	197人	156人	67人	48人	26人	9人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-
2	東小学校	150人	164人	150人	145人	120人	21人	8人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	埴生小学校	235人	254人	244人	150人	150人	2人	2人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	治田小学校	230人	246人	100人	50人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	八幡小学校	188人	211人	165人	143人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	戸倉小学校	96人	96人	52人	53人	53人	8人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	五加小学校	235人	256人	5人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	更級小学校	157人	185人	99人	98人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	上山田小学校	236人	262人	52人	45人	41人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	屋代中学校	705人	766人	777人	460人	260人	150人	80人	30人	4人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-
11	埴生中学校	319人	347人	279人	217人	164人	59人	15人	8人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-
12	更埴西中学校	198人	231人	61人	18人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	戸倉上山田中学校	180人	179人	97人	69人	56人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	桑原研修センター	40人	14人	14人	14人	6人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	八幡公民館	63人	63人	62人	62人	48人	21人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	更級コミュニティセンター	32人	29人	23人	23人	0人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	千曲市総合観光会館	40人	50人	25人	25人	0人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	旧戸倉庁舎	285人	295人	196人	129人	48人	10人	4人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	ことぶきアリーナ千曲	550人	660人	661人	661人	600人	400人	200人	60人	30人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-
20	更埴文化会館	150人	156人	156人	156人	156人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	旧更埴庁舎保健センター	12人	93人	133人	113人	88人	114人	100人	36人	9人	37人	13人	4人	4人	4人	5人	6人	5人
22	旧更埴庁舎議場	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	150人	0人	0人	0人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-
23	屋代高等学校	未開設	40人	110人	70人	12人	4人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	健康プラザ	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	未開設	15人	16人	16人	閉鎖	-	-	-	-
25	信販販売センター	3人	10人	15人	15人	15人	15人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	自主避難所	北堀公民館	不明	不明	32人	32人	16人	16人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27		稲荷山公民館	13人	3人	2人	2人	2人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28		あんずの里観光会館	10人	11人	11人	11人	4人	4人	閉鎖	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29		丸善食品	6人	6人	6人	6人	6人	6人	0人	0人	0人	閉鎖	-	-	-	-	-	-
合計		4,305人	4,840人	3,712人	2,964人	2,001人	1,047人	457人	160人	52人	52人	29人	20人	4人	4人	5人	6人	5人

※閉鎖日時 令和元年11月11日（月） 午前8時30分